

平成29年6月11日

## 北近畿経済新聞（4面）に掲載されました

日東精工が研究開発拠点を開設した「京都市成長産業創造センター」（京都市）＝同社提供



綾部の日東精工

# 産学連携で技術開発強化 京都市にR&Dセンター開設

ねじメーカーの日東精工（本社・綾部市井倉町、材木正二社長）は1日、京都市の市成長産業創造センターに新たな研究開発拠点となる「京都R&Dセンター」を開設した。大学との産学連携により技術開発力の強化を図る。

【岡田圭司】

### 京都大や工織大と連携

創造センターには京都大や京都工芸繊維大など市内に集積する大学や研究機関、企業が入居。産学公が連携して化学分野の研究が進められている。

本社に研究開発拠点を置く同社は以前から

京都工織大と連携があり、3月30日付で京大の平尾一之教授が社外取締役に就任するなど今年から京大との連携も強めている。

こうした大学との交流を加速させるため、本社以外では初めてとなる研究開発拠点を開設。ファスナー、産機、制御システムの各事業分野の研究を進めるほか、情報収集や新規事業の創出を目指している。

### 広島には営業所

中国、九州の営業力アップ

また、同社は7月6日、大阪、名古屋、横浜、群馬に次ぐ国内5カ所目の営業拠点として広島市に広島営業所を開設する。これまで本社や大阪注の獲得につなげる。

支店が担当していた中國地方と九州地方の一部を広島営業所でカバーし、取引先の利便性向上を図るほか、営業活動を強化して新規受